

平成26年度食料自給率の概要

1 食料自給率

- | | |
|-----------|--------------------|
| ○ カロリーベース | 39% (前年度と同率) |
| ○ 生産額ベース | 64% (前年度より1ポイント減少) |

2 主な品目の食料自給率に対する影響

(1) カロリーベース食料自給率の主な変動要因

- | |
|--|
| ○ 小麦及び大豆について、前年度より天候に恵まれ、単収が平年よりも高くなるとともに、作付面積も増加したことから、国内生産量が増加 |
| ○ 米について、主食用米等の需要量が減少傾向で推移していることに加え、前年度の消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動等により、需要量が減少 |

(2) 生産額ベース食料自給率の主な変動要因

- | |
|---|
| ○ 米について、需給緩和傾向等を背景に、国産価格が低下したことから、国内生産額が減少 |
| ○ 魚介類について、国際的取引価格の上昇や為替動向の影響等により、輸入単価が上昇したことから、輸入額が増加 |

カロリーベース食料自給率(平成26年度)における各品目の寄与度

品目	国産熱量	総供給熱量	寄与度	備考
米	528kcal (▲12kcal)	539kcal (▲16kcal)	▲0.2ポイント	1人1年当たり消費量 56.9kg→55.2kg
小麦	43kcal (+4kcal)	331kcal (+1kcal)	0.1ポイント	国内生産量(前年度比) +5.0%
大豆	20kcal (+3kcal)	71kcal (▲1kcal)	0.1ポイント	国内生産量(前年度比) +15.9%
野菜	56kcal (+2kcal)	73kcal (+1kcal)	0.0ポイント	
果実	22kcal (±0kcal)	61kcal (▲3kcal)	0.1ポイント	
畜産物	68kcal (+3kcal)	401kcal (+1kcal)	0.1ポイント	
魚介類	69kcal (+4kcal)	103kcal (+3kcal)	0.1ポイント	
砂糖類	60kcal (+3kcal)	195kcal (▲5kcal)	0.2ポイント	
油脂類	11kcal (±0kcal)	357kcal (+13kcal)	▲0.2ポイント	
その他	71kcal (+1kcal)	284kcal (▲5kcal)	0.1ポイント	
合計	947kcal (+7kcal)	2,415kcal (▲10kcal)	0.5ポイント	※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※()内は対前年度増減である。

生産額ベース食料自給率(平成26年度)における各品目の寄与度

品目	食料の 国内生産額	食料の 国内消費仕向額	寄与度	備考
米	1兆5,655億円 (▲3,319億円)	1兆5,832億円 (▲3,391億円)	▲0.8ポイント	国産単価(前年度比) ▲15.6%
小麦	334億円 (▲6億円)	2,886億円 (+120億円)	▲0.1ポイント	
大豆	416億円 (+180億円)	851億円 (+244億円)	0.0ポイント	
野菜	2兆3,040億円 (+197億円)	3兆1,077億円 (▲564億円)	0.4ポイント	
果実	7,524億円 (+25億円)	1兆1,567億円 (+108億円)	▲0.0ポイント	
畜産物	2兆6,627億円 (+2,605億円)	4兆5,665億円 (+3,809億円)	0.1ポイント	
魚介類	1兆2,904億円 (+52億円)	2兆5,835億円 (+994億円)	▲0.4ポイント	食用魚介類の輸入単価 (前年度比) +7.6%
砂糖類	1,520億円 (▲16億円)	3,092億円 (▲91億円)	0.0ポイント	
油脂類	1,696億円 (+55億円)	4,997億円 (+77億円)	0.0ポイント	
その他	8,626億円 (▲58億円)	1兆1,295億円 (▲120億円)	0.1ポイント	
合計	9兆8,341億円 (▲286億円)	15兆3,096億円 (+1186億円)	▲0.7ポイント	※ラウンドの関係で、合計と内訳が一致しない場合がある。 ※()内は対前年度増減である。